

令和3年2月25日

教職員・学生各位

明治薬科大学
学長 越前宏俊

令和2年度の振り返りと3年度におけるウィズ・コロナ下での教育について

新型コロナウイルス感染症の第三波も第2回目の緊急事態宣言発出から約1ヶ月を経て新規感染者が著明に減少してきました。しかし、新規感染者に高齢者の割合が増加しており、重症者数も未だに多く、今後の変異ウイルスの動向も気になるこの頃です。このような状況で緊急事態宣言は10都府県で3月7日まで延長されています。

昨年来の深刻な感染状況の中で、本学は独立行政法人大学入試センター実施の大学入学共通テストの実施に協力し、本学学生に対しては薬学科4年生のCBTとOSCE試験、薬学科6年生の1次および2次の卒業試験(総合医療薬学演習試験)、薬学科および生命創薬科学科の後期定期試験を集合形式で実施しつつ、一般入学試験も万全の感染対策のもと集合形式で実施しました。教職員および学生のご協力に感謝いたします。順次入学試験の合格者を発表し、4月から新入生の皆さんを迎える事を心待ちにしているところです。

令和2年度は本学学生、とりわけ6年生にとっては例年のように集合形式で国家試験対策を行うことが出来ず大変に困難な状況の中で試験準備を行わざるを得ませんでした。本学としては図書館開放、食堂施設での勉強スペース提供等を行いました。関東圏では昨秋から新年にかけて新型コロナウイルス感染症の第三波に襲われ、一時は1日新規感染患者が2,000人を超える時期もありました。このため、学生および教職員の健康リスクを守るために大学施設開放も限定的とならざるを得ず、心ならずも6年生には不自由を強いることになってしまいました。しかし、本学の学生は困難に負けず勉学に励み例年とほぼ同数の学生が薬剤師国家試験受験票を手にして去る2月20および21日に第106回薬剤師国家試験を受験しました。この努力は必ずや良い結果で報われるものと確信しています。

さて、このように盛り沢山の学事日程に対応しつつ、後1ヶ月半ほどに迫る新学期の準備も着々と行われています。令和2年度の経験に基づき大学教育における感染対策についてもかなりの経験知が蓄積されました。本学学生は病院・薬局実習において一人のPCR検査陽性者を出しませんでした。また、講義のオンデマンド配信による教育効果も確認できました。令和3年度からは、対面と遠隔を併用したハイブリッド型授業が開始されます。新しい大学教育の時代が始まると言えましょう。新たに迎える1年生を教職員が一丸となって支援しウィズ・コロナの時代においても実りある大学教育を作り上げて行くように努力する事をお約束します。